

令和7年度事業報告

生産者の所得向上と本県農業の持続的な発展に向け、県やJAグループ、農業団体との緊密な連携の下、生産振興対策事業、野菜価格補償事業、農地中間管理事業（公益目的事業）と生産者団体の活動を支援する組織力強化対策事業（共益事業）に取り組んだ。

第1 会議等の開催（法人運営事業）

1 会議の開催

（1）総会の開催

ア 通常総会 令和7年6月30日（月） 於：プラザ菜の花

（ア）令和6年度事業報告及び収支決算

（イ）令和7年度会費額

（ウ）役員の選任

（2）理事会の開催

ア 定例理事会 令和7年6月10日（火） 於：プラザ菜の花

（ア）令和7年度通常総会の開催

（イ）令和7年度通常総会提出議案

a 令和6年度事業報告及び収支決算

b 令和7年度会費額

c 役員の選任

（ウ）報告事項

a 農地中間管理事業における未収金の取組状況

b 理事長及び専務理事の主な業務執行状況報告

イ 臨時理事会 令和7年12月22日（月） 於：千葉県教育会館

（ア）農地中間管理事業の賃貸料未収金対策

（イ）農地売買等事業の実施

ウ 定例理事会 令和8年3月30日（火） 於：プラザ菜の花

（ア）令和7年度更正予算

（イ）令和8年度事業計画及び収支予算

（ウ）規程の一部改正

（エ）来年度の業務体制

・報告事項

（ア）令和7年度理事長及び専務理事の業務執行状況

（イ）農地部の業務体制

（ウ）農地中間管理事業農地賃借料未収金に関する取組状況

（エ）農地中間管理事業評価委員会の開催結果

（3）定期監査の実施

ア 期 日 令和7年6月6日（金） 於：富里市農業協同組合

イ 内 容 令和6年度事業執行状況及び収支決算監査

ウ 監 事 根本 実（富里市農業協同組合代表理事組合長）

2 県実施の監査等

(1) 令和7年度財政的援助団体等監査

(地方自治法第199条第7項の規定による行政監査)

財政的援助団体等監査については、県からの補助金等の財政的援助や資本金、基本金その他これに準ずるものの4分の1以上の出資を県から受けている法人を対象に実施されており、当協会は平成26年度から対象団体に位置付けられていることから、本年度も法令に基づく県監査委員事務局監査を受検した。

ア 千葉県監査委員事務局 職員監査の実施（立入）

- (ア) 受検年月日 令和7年9月11日（木） 於：当協会事務所
- (イ) 監査内容 出納その他の事務書類及び事業の執行状況等調査の実施
- (ウ) 監査人 千葉県監査委員事務局職員

イ 本監査

- (ア) 受検年月日 令和7年11月11日（火）（於：監査委員事務局監査室）
- (イ) 監査内容 令和6年度会計に基づく監査対象団体監査
- (ウ) 監査人 監査委員（2名） 小倉委員（識見）・坂下委員（議選）
- (エ) 講評（監査結果）
注意事項及び指摘事項はなし。

3 委託業者等指名業者選定審査会

委託指名業者を公正かつ適正に選定することを目的として、「委託業者等指名業者選定審査会」を設置した。

(1) 審査委員長 専務理事

(2) 審査会の開催

ア 第1回指名業者選定審査会

- (ア) 審査年月日 令和7年10月1日（水）
- (イ) 委託内容 農地中間管理事業業務（以下2件）
 - a 農地中間管理事業書類発送業務（耕作者）
 - b 農地中間管理事業書類発送業務（地権者）

4 税理士による業務運営の適正化

税理士との顧問契約により、公益法人としての適正な会計処理及び協会全体の業務運営の適正化に努めた。

- (1) 契約事務所：加藤武人税理士事務所・株式会社加藤会計事務所(千葉市中央区)
代表取締役：加藤武人、税理士（会計顧問）：石毛利和
- (2) 支援内容：月次経理検査の実施、決算支援、法定調書、税務申告等における会計支援、公益法人運営の指導及び支援 等

第2 生産振興対策事業（公益目的事業1）

1 産地活性化促進事業

（1）園芸産地強化事業

国内外の産地間競争が激化する中、量販店などの大口需要に対応するためには、個別産地の取組に加え、県内産地が戦略的に連携するオール千葉体制による生産・販売力強化の取組が求められている。

こうした状況に対応するため、平成26年度以降、本県の主要園芸7品目（トマト、ねぎ、にんじん、さつまいも、だいこん、キャベツ、きゅうり）において、各品目別協議会を設置した。また、産地連携が可能な地域品目である、すいか、やまといも、レタスについても、既存の協議会（すいか、やまといも）や新たに設置した協議会（レタス）による取組を平成30年度から開始した。

しかしながら、本県野菜及びいも類の産出額はピーク時の平成28年には2,162億円あったものが、令和6年は1,642億円となり、約2割減少するなど、厳しい状況が続いている。

そこで園芸協会、県及び全農千葉県本部では、令和4年度以降、産出額の多いトマト、ねぎ、にんじん、さつまいもの4品目を強化品目に位置付け、重点的に産地振興に取り組んでいる。

また、定期的に県、主要JA、全農千葉県本部と意見交換会を実施し、効果的な振興方策について検討を行うとともに、令和5年度からは、主要JAの担当部長を強化4品目の品目別協議会の部会長とすることで、産地とより密になった活動を展開している。



主要JA等との意見交換会

（参考）千葉県園芸協会が公益法人化して以降の産出額及び主な取組内容

(出典：産出額は「生産農業所得統計」、販売経営体数は「農林業センサス（販売目的で野菜を作付けた経営体数）」)

	農業 産出額 （億円）	順位				強化４品目の産出額（億円）				野菜販売経営 体数（経営 体）	主な取組内容	備考
			野菜＋いも類 産出額 （億円）	うち、野菜 産出額（億円）	うち、いも類 産出額（億円）	さつまいも	ねぎ	トマト	にんじん			
平成26年	4,151	4	1,818	1,611	207	181	170	138	109		【トマト】選果基準表、カラーチャートを作成 【にんじん】市場内合同販促の開始 【さつまいも】べにはるか「30日貯蔵ルール」の徹底	園芸協会の公益法人化
平成27年	4,405	4	1,979	1,749	230	191	209	149	120	17,467	【トマト】共通着色基準での出荷と集中的な販促の開始 【ねぎ】プレミアム夏ねぎの生産開始 【にんじん】主要JAにおける出荷小袋デザインの統一 【さつまいも】品種別販売方針の策定と品種別販促の実施	全国的な豊作傾向
平成28年	4,711	4	2,162	1,927	235	201	222	143	157		【ねぎ、トマト】出荷箱デザインの共通化 【ねぎ】栽培マニュアルの作成・配布と市場内合同販促の定着化	東北の梅雨明けの遅れ、6，7月の北海道の天候不順、台風による大雨
平成29年	4,700	4	2,033	1,829	204	178	210	136	138		【トマト】環境モニタリング装置の導入試験の開始 【ねぎ】初夏ねぎの共通シールの作成 【にんじん】秋冬作のL級入り本数の統一と、主要JAにおける一部呼称の統一	8月の天候不順、10月の曇天・長雨（極端な日照不足）、台風が連続して上陸・接近
平成30年	4,259	4	1,744	1,546	198	177	173	128	114		【にんじん】出荷箱デザインの共通化 【さつまいも】主要JAにおいて主な等階級の統一と、調製作業の労力補完に向けた実証試験	全国的な豊作 （ねぎ37億円減、にんじん24億円減、だいこん61億円減、キャベツ35億円減、ほうれんそう83億円減）
令和元年	3,859	4	1,512	1,305	207	176	151	92	102		【ねぎ】加工業務向けの新規生産支援 【にんじん】台風被害への対応のため、市場等への正確な産地情報の提供、復旧のPR実施、ハウス再建に向けた取組 【さつまいも】台風被害への対応のため、品種別販売方針を実態に即して見直し、生産者・販売者への周知	令和元年房総半島台風、東日本台風等の暴風雨
令和２年	3,853	4	1,628	1,383	245	178	173	89	114	13,291 （H27比76％）	【全品目】新型コロナウイルスの感染拡大に伴うWEB販促の実施と各種ポスター等の販促資材の作成 【トマト】共通スタンドバックの作成と、環境制御技術の普及に向けた研修会の開始	新型コロナウイルスの感染拡大（外食の減少）
令和３年	3,471	6	1,495	1,280	215	188	138	92	96		【トマト】冬春作について、関係機関での「トマトのあり方検討会」を開始 【ねぎ】栽培マニュアルの改訂 【さつまいも】新産地の育成に向けた意向確認と必要な種芋の確保	鳥インフルエンザの大規模発生（R2,12月～）、米価の下落、飼料用米への作付転換
令和４年	3,676	4	1,550	1,335	215	194	128	99	105		◎「トマト」「ねぎ」「にんじん」「さつまいも」を強化品目に位置付け 【トマト】千葉県の地理的優位性を生かした新たな販売への取組検討 【ねぎ】生産拡大及び11型パレットに対応した新規格の導入検討 【にんじん】しみ症を中心とした病害虫対策の実施 【さつまいも】本格的な新産地育成の取組開始（切苗の提供、関係機関による現地巡回及び栽培講習会の開催）、既存産地での「産地課題検討会」開催	資材・エネルギー価格の高騰
令和５年	4,029	4	1,548	1,336	212	185	131	99	116		【トマト】高温対策試験の実施、新たな販売への取組検討 【ねぎ】簡素化規格及び11パレット対応出荷箱の導入決定、準周年化の推進 【にんじん】しみ症対策展示圃の設置、規格統一の協議 【さつまいも】若手生産者研修会開始、新産地の（生産者・指導者）研修	新型コロナが5類感染症に移行 1年を通して高温傾向、さつまいも空洞症が多発
令和６年 （ピーク比）	4,533 （96％）	4	1,642 （76％）	1,430 （74％）	212 （87％）	167 （83％）	140 （63％）	90 （60％）	116 （74％）		【トマト】高温対策の事例集を作成 【ねぎ】夏越し対策・事例の収集等 【にんじん】ダンボール規格見直しと出荷規格統一の検討 【さつまいも】「千葉県産さつまいも品種別販売方針」を改訂	高温や天候不順により、園芸品目の出荷額が例年の約8割に大幅減
令和7年	未公表										別紙参照	

出展：産出額は「生産農業所得統計」、販売農家戸数は「農林業センサス（販売目的で野菜を作付けした農家数）」

ア 品目別協議会等の運営・設置

(ア) トマト協議会

目標：「県の優位性を生かした新たな販売と病害虫対策による生産拡大」

目標産出額（R7）：160 億円（令和 6 年実績：90 億円）

《これまでの成果の概要》

a 単収向上に向けた支援

春トマトの生産対策として環境モニタリング装置の導入試験を行ったほか、専門家を講師に迎え、現地でのコンサルティング研修会を実施した。

また、産地全体での抑制トマトの生産対策として高温対策試験にも継続して取組んだ。

b 規格の統一に向けた支援

産地間で異なる出荷時の着色や品質の均一化を図るため、JA や市場等を参集した販売検討会議を設置し、県共通の着色度合いや、県内各産地及び他県競合産地の品質チェック、規格統一に向けた協議等に取り組んだ。

c 有利販売に向けた支援

春トマトの販売対策として、「千葉県の地理的優位性を生かした高鮮度・高品質なトマト」を売りにした新たな有利販売方法を協議し、JA 長生施設野菜部会の協力のもと鮮度を生かした新たな販売を試験した。

また、ロットの集約による高単価販売を目指し、量販店で複数産地のトマト水違約した販売を施行したほか、トマト産地との協議を実施し、共通着色基準を決定した。

d その他

連携意識の向上や取組強化を目的として、生産者代表を集めた情報交換会や、販売促進活動に参加した若手生産者を集めた意見交換会、生産性向上に向けてスマート農業の推進に係る現地検討会等を開催した。

《令和 7 年度の主な活動》

a 単収向上への取組支援

高温対策や黄化葉巻病対策の推進に向け、技術実証ほ、生産対策検討会を開催したほか、高温対策については、過年度の試験内容を取りまとめた事例集を作成した。また、病害虫によるウイルス病の多発を受け、研修会を開催した。

b 販売力強化

千葉県、JA 全農ちばと連携した、千葉県フェアを開催したほか、品質向上の取組として、千葉会果菜類部会を開催し、春トマトの品質調査を実施した。

《今後の取組》

a 抑制作においては、引き続き高温対策や病害虫対策を中心とした展示ほ等を設置し、生産量の維持拡大と品質の向上を目指した取組を行う。

b 冬春作においては、引き続き新たな販売方法の検討をするとともに、千葉会と連携した、11 パレットに対応した規格の検討、品質の向上に向けた品

質調査等の販売対策を行う。



微小害虫・ウイルス病対策研修会



生産対策中間検討会

(イ) ねぎ協議会

目標：「簡素化規格の導入や生産対策による生産量の維持拡大」

目標産出額（R7）：210 億円（令和 6 年実績：140 億円）

《これまでの成果の概要》

a 新作型への挑戦に支援

プレミアム夏ねぎの栽培マニュアル配布や 助成措置、先進地視察、市場内販促等に併せ、出荷用段ボールや販売資材、さらに新規生産者への取組支援を行ったことで初夏ねぎが新しい作型として県内のねぎ産地で定着した。

b 技術向上に向けた支援

作型ごとの栽培方法をまとめたマニュアルを作成し、県内全域の技術向上を支援した。重要病害である黒腐菌核病の対策に取り組み地域の安定生産につながっている。

c 有利販売に向けた支援

T11 パレットに適応できるよう令和 6 年産から箱サイズを変更し、新たな規格として軟白部 27cm を推進したところ、平成 8 年産からねぎ販売の主要農協の全てにおいて運用されることとなった。

《令和 7 年度の主な活動》

a 単収向上に向けた支援

九十九里ねぎ連絡協議会と連携し各農業事務所・農林総合研究センターが実施する夏越し対策・事例の収集等を行い指導者間で共有した。夏越し及び年内出荷の難しさが共通の課題として認識された。

b 規模拡大へつながる準周年化栽培の推進

令和 6 年度事業で取組んだ新規導入者の初夏ねぎ作型の取組情報の整理を行い新作型への拡大意欲が確認できた。

《今後の取組》

a 単収向上に向けた技術支援

夏越しが生産者共通の課題となる秋冬ねぎで、気象変動に対応する年内収穫実証と事例収集に生産者・指導者で取組む。

b 出荷期間確保による産地生産力の向上

生産者の所得向上と産地の競争力を維持していくため 12～6 月まで継続して出荷できる生産者・産地への支援を行う。

c 新規格導入等による産地販売力の向上

効果的な流通が実現されるよう集出荷場及び各段階での課題を共有し、併せて各産地から出荷されたねぎの品質調査を実施し、高品質ねぎの出荷を推進する。



県内育苗業者意見交換



T11 パレット適応の積載

(ウ) にんじん協議会

目標：「病虫害対策等の実施による生産量の維持拡大」

目標産出額（R7）：150 億円（令和 6 年実績：116 億円）

《これまでの成果の概要》

a 規格の統一に向けた支援

秋冬にんじんについては、産地ごとに出荷規格や出荷形態が異なることから、それらの統一化に向けた提案を行い、次の成果が得られた。

- (a) 3 J A で出荷小袋の規格とデザインが統一された。
- (b) 出荷規格について、L 級を先行して統一した。
- (c) 関係 J A が連携し、合同販売促進活動を実施した。
- (d) 関係 J A 統一で、出荷箱にチーバくんのデザインを導入した。

b 技術向上に向けた支援

生産上の大きな課題となっている病虫害（しみ症、ヒョウタンゾウムシ等）対策のチラシの配布により、周知ができた。難防除害虫ヒョウタンゾウムシの防除対策として効果の高い薬剤が明らかとなり、当該農薬メーカーとの連携により令和 6 年度に適用拡大された。

《令和 7 年度の主な活動》

a 単収・品質向上に向けた支援

- (a) しみ症等の病虫害及び高温対策等の推進として、情報交換を実施した。
- (b) 春夏にんじんの新産地において、関係者による巡回や栽培講習会を開催した。
- (c) 秋冬にんじんの産地の維持拡大に向け、主要産地での関係機関連携会議を開催した。

b 産地連携による流通・販売対策の推進

- (a) T11 パレットに対応したダンボールの規格見直しと出荷規格統一の検討を行った。
- (b) 近畿圏への本県産青果物の認知度向上を目的とした「千葉県青果物近畿フェア」及び「千葉県フェア」にて販売促進活動を支援した。

《今後の取組》

- a 生産量の維持拡大に向けて、春夏にんじんを中心とした病虫害対策を推進するとともに、各産地が抱える課題解決や新産地育成の検討を進める。
- b 販売単価の向上に向けて、11パレットに対応した出荷箱及び県統一出荷規格の検討を進めるとともに、千葉会等と連携した販売促進活動を行う。



秋冬にんじん情報交換会

(エ) さつまいも協議会

目標：「労力や貯蔵庫整備への支援及び新産地の育成による生産拡大」

目標産出額（R7）：230 億円（令和6年実績：167 億円）

《これまでの成果の概要》

- a 有利販売に向けた支援
競合する他県産地との差別化に向け、千葉県における品種別の販売方針を作成し、この方針に基づき計画的に生産・販売を進められている。販売面では、販売促進活動を実施しており、PR資材としてチーバくんのスイングポップや品種別ミニポップ、ポスター、焼きいも袋等を作成した。
- b 産地連携による生産対策の推進
既存産地にて産地課題検討会を開催し、労働力対策、集選果場及び貯蔵庫の整備等の課題について整理し、先進地視察を実施した。
- c 新産地の育成
令和4年度から、新産地の育成に着手した（JAきみつ、JA千葉みらい、JAちばみどり）。新産地共通の出荷箱の作成や、健全苗の供給体制整備、栽培指導、県域研修会などを関係機関と連携し行った。
- d 技術向上に向けた支援
令和5年度より、「さつまいも若手生産者研修会」を開催し、意欲的な若手生産者の産地を超えた仲間づくりと資質向上が図られている。

《令和7年度の主な活動》

- a 生産力強化
 - (a) 県域の研修会を開催し、県内生産者27名が出席した。卸売会社担当者やバイヤーからの講義や意見交換を行い、有意義な研修となった。
 - (b) 喫緊の課題となっている空洞症対策の試験等を各機関で実施し、他の試験結果等と併せて技術担当者会議にて情報共有した。

- (c) 国の育種機関である農研機構中日本農研センターを視察し意見交換を行った。
- (d) 新産地において、各機関が連携し「あまはづき」の苗生産及び栽培指導、販売支援を実施した。
- b 販売力強化
 - (a) 千葉会と品種構成や販売についての意見交換を開催し、「千葉県産さつまいも品種別販売方針」を改訂した。
 - (b) 「千葉県フェア」、「べにはるかの日」等における販売促進活動を実施した。
 - (c) 「べにはるかの日」ミニのぼりを作成し、販促に活用した。

《今後の取組》

- a 空洞症等の発生等による品質低下が問題となっていることから、病障害対策の確立と新品種の導入検討、新産地の技術指導を進める。
- b 担い手の確保・育成に向け研修会を開催し、各地域での新規就農者受け入れ体制の整備を推進する。
- c 集選果場整備や健全苗確保体制の整備などの労力対策を推進する
- d 流通・販売対策として、11パレットに対応した出荷箱の作成の協議、千葉会と連携した販売促進活動を行う。



県域研修会

(オ) だいこん協議会

《これまでの成果の概要》

- a 安定生産の継続に向け、連作による生育障害などを回避するため、産地の土壌分析を行い、改善対策を講じるための基礎資料とすることができた。
- b 秋冬野菜として、産地JA等と連携した販売促進活動に取り組んだ。
- c 経営規模の拡大等に向け、省力化機械（引抜機）の実演を行った。
- d 取組産地等に対する情報収集及び県共通の販売促進資材の作成を行った。

《令和7年度の主な活動》

- a 近畿圏への本県産青果物の認知度向上を目的に、「千葉県青果物近畿フェア」を実施した結果、本県産の販売が拡大した。
- b 企業と連携した量販店フェアを実施し、販売拡大に取り組んだ。

(カ) キャベツ協議会

《これまでの成果の概要》

- a 出荷量が減少する 1 月から 4 月の期間に安定生産が可能となるよう、品種の比較試験に取り組み、結果を産地や関係機関と共有した。
- b 加工業務用需要の拡大を受け、栽培マニュアル（案）を作成した。
- c 県共通の販売促進資材（スイングポップ）を作成し、県全体としての P R ができるようになった。
- d 秋冬野菜として、産地 J A 等と連携した販売促進活動ができた。

《令和 7 年度の主な活動》

- a 近畿圏への本県産青果物の認知度向上を目的に、「千葉県青果物近畿フェア」を実施した結果、本県産の販売が拡大した。
- b 企業と連携した量販店フェアを実施し、販売拡大に取り組んだ。

(キ) きゅうり協議会

《これまでの成果の概要》

- a 単収向上に向けたハウス内環境制御技術の現地実証試験を実施や、専門家を講師とした研修会により、産地の環境制御技術の向上が図られた。
- b 販売促進活動を支援するためポスターを作成し、「いいきゅうりの日プロジェクト」の販売促進活動を実施し、県産きゅうりの認知向上が図られた。
- c 近畿圏への「千葉県青果物近畿フェア」の実施により、本県産の販売が拡大した。

《令和 7 年度の主な活動》

- a 近畿圏への「千葉県青果物近畿フェア」を実施した。
- b 企業と連携した量販店フェアを実施し、販売拡大に取り組んだ。

(ク) レタス協議会

《これまでの成果の概要》

- a J A 安房・J A 木更津市・J A きみつで、選果基準表や共通デザイン出荷箱を作成し、産地連携が進められた。
- b レタス協議会を開催し、産地や関係者での情報共有や先進地視察（香川県）を実施し、先進地の労力対策等の知見が産地に共有された。
- c 近畿圏への「千葉県青果物近畿フェア」の実施により、本県産の販売が拡大した。
- d 県共通の販売促進資材（スイングポップ）の作成や合同販促により本県産レタスの認知向上が図られた。
- e 他品目を含めた物流体制の構築へ向けた協議を実施した。

《令和 7 年度の主な活動》

- a 「千葉県青果物近畿フェア」の実施。
- b 企業と連携した量販店フェアを実施し、販売拡大に取り組んだ。

(ケ) すいかの産地連携の取組

《これまでの成果の概要》

- a 販促資材として大玉、3倍体、小玉など3種類のポスター、スイングポップ、チーバくんシールを貼ったカットすいか袋、一個玉すいか用エコバッグを作成し、県全体としてのPRができるようになった。
- b 合同販促の実施により、県産すいかの認知向上が図られた。
- c 若手生産者による現地検討会を開催した。

《令和7年度の主な活動》

- a 県・全農主催による「千葉県スイカフェア」において、産地の3JA（山武郡市、千葉みらい、富里市）とともに販売促進に取り組んだ。



千葉県スイカフェア

イ 産地人材育成の取組

各産地が将来にわたり「オール千葉」の視点を持って生産力・販売力の強化に取り組むことに資するよう、次の事項についてJAや県の担当職員を対象に人材育成研修を実施した。

(ア) トマト振興に係る視察研修会

期 日 令和7年8月27日（水）～28日（木）

場 所 会津よつば農業協同組合トマト選果場
下野農業協同組合

参加者 県内JA（長生、富里市、ちばみどり）、全農千葉県本部、千葉県、園芸協会 26名

内 容 GAP 団体認証
AI 搭載カメラを整備した一元選果施設による品質向上の取組



抑制トマトほ場の視察



一元選果施設の視察

(イ) にんじん振興に係る視察研修会

期 日 令和8年3月11日(水)～12日(木)

場 所 J A徳島県板野営農経済センター

徳島県板野郡にんじん農家

参加者 県内 J A (富里市、山武郡市)、全農千葉県本部、千葉県、園芸協会
16 名

内 容 労力面の最新事例の調査
生産面・流通面での最新情報の収集



にんじん生産圃場視察



洗浄選果ライン視察

(2) 生産技術向上対策事業

ア 第73回千葉県野菜品種審査会の開催

野菜優良品種の選定と野菜種子の品質改善を目的とした千葉県野菜品種審査会を開催し、優良品種の普及・定着促進と、園芸農産物の品質向上を図った。

主催：千葉県、日本種苗協会千葉県支部、(公社)千葉県園芸協会

品 目	作 型	実施日	ほ場地
とうもろこし	マルチ栽培	R7. 7. 18	農林総合研究センター 暖地園芸研究所野菜・花き研究室 (館山市)
キャベツ	秋冬どり栽培	R7. 11. 21	農林総合研究センター 水稲・畑地園芸研究所東総野菜研究室 (旭市)
にんじん	秋冬どり栽培	R7. 12. 4	農林総合研究センター 水稲・畑地園芸研究所畑地利用研究室 (香取市)

イ 各種共進会の開催

生産技術の向上や園芸生産者の意欲増進を目的とした各種共進会を企画した。

また、共進会の会場に一般消費者が多数来場可能な大型量販店等を利用することにより、本県園芸農産物の理解を深め、利用促進を図った。

品目	共進会名	開催期日	場 所
果樹	千葉なし(幸水)味自慢コンテスト	R7. 8. 6～8. 7	イオン津田沼店
植木	千葉県植木共進会	R7. 10. 25～26	道の駅みのりの郷東金
花き	千葉県フラワーフェスティバル	R8. 1. 16～18	(株)そごう千葉店

ウ 種苗生産事業

県からの委託事業を受け、県内生産に適した高品質な農産物を消費者に安定的に供給するため、種苗センター（長生村）において千葉県が育成した品種等の種苗生産に取り組んだ。

農作物原種生産事業実績（県委託事業）

品 目	計画数量	生産数量	配付数量
落花生	890 kg	890 kg	397 kg
カンショ	3,975 本	3,975 本	3,975 本
ヤマトイモ	1,200 kg	1,200 kg	1,560 kg
サトイモ	300 kg	300 kg	0 kg
イチゴ	1,100 本	1,100 本	888 本
ネギ	1,200 本	1,200 本	550 本
植木	1,000 本	1,000 本	910 本
ナシ	1,100 本	1,100 本	715 本
ビワ台木	800 本	800 本	395 本

エ 果実等生産出荷安定対策

果樹経営の安定的発展のため、国の果樹経営支援対策事業を活用し、産地が策定した果樹産地構造改革計画に基づいて行う改植や園地の基盤整備等の取組を支援した。

なし剪定枝については、発電用再生可能エネルギーとして活用するため、林野庁ガイドラインに基づく認定制度を継続して運用した。

(ア) 果樹経営支援対策事業

a 果樹経営支援対策事業の取組産地と取組内容（通常実施分）

産地協議会名	品目	実施内容	園地数 (件)	実施面積 (㎡)	備考
八千代市果樹産地協議会	梨	用水・かん水	1	1,527	R 6 採択分
白井果樹産地協議会	梨	新植、改植	4	1,937	
木更津市梨産地協議会	みかん	新植	1	239	R 6 採択分
安房柑橘産地協議会	レモン みかん	新植	4	9,010	R 6 採択分
合計			10	12,713	

(イ) 果樹先導的取組支援事業

a 果樹先導的取組支援事業の取組産地と取組内容（通常実施分）

産地協議会名	品目	実施内容	園地数 (件)	実施面積 (㎡)	備考
印西果樹産地協議会	梨	用水・かん水	1	2,700	
白井果樹産地協議会	梨	用水・かん水	2	10,430	
木更津市梨産地協議会	梨	用水・かん水	1	1,950	
合計			4	15,080	

(ウ) なし剪定枝に係る認定制度の運用

林野庁のガイドラインに従い、剪定枝を集積・運搬する次の J A（平成 28 年度認定）について運用を継続した。

団体名	認定年月日	事業者の所在地
市川市農業協同組合	H28. 12. 12 R 1. 12. 12[継続] R 4. 12. 12[継続] R 7. 12. 8[継続]	市川市

オ 表彰事業

県域でのコンクールをはじめ、県内各地域で開催される園芸品目対象の共進会や県民参加型のコンテストなど、公益的に広く開催されるものに対し、会長賞を交付し、園芸品目の奨励に努めた。

※公益社団法人千葉県園芸協会会長賞交付実績（交付数：15点）

共進会・コンクール名称	開催場所	開催日
千葉県温室びわ共進会	J A 安房富浦支店	R 7. 5. 9
横芝光町夏期農業改良共進会	横芝光町役場	R7. 6. 19
富里市すいか共進会	富里中央公民館	R7. 6. 22
いちほら梨共進会	J A 市原市 東海営農センター	R7. 8. 8

千葉なし(幸水)味自慢コンテスト	イオン津田沼店	R7. 8. 6～7
千葉県植木共進会	道の駅みのりの郷 東金	R7. 10. 22～26
船橋市農水産祭農産品評会	J Aいちかわ船橋支店	R7. 11. 8
いはら大収穫祭農林産物共進会	市原市農業センター	R7. 11. 8～9
八街市産業まつり農産物共進会	八街中学校体育館	R7. 11. 15～16
横芝光町産業まつり農業改良共進会	横芝光町体育館	R7. 11. 15
房総ミカン美味コンテスト	農林総合研究センター 暖地演技絵研究所	R7. 11. 22～23
J Aきみつ農業まつり農畜産物品評会	君津市文化ホール	R7. 12. 4～6
千葉県フラワーフェスティバル花き共進会	(株)そごう千葉店	R8. 1. 15～18
千葉県青年農業者会議	千葉県教育会館	R8. 1. 27
八千代市園芸農産物共進会	八千代市農協本店集出荷場	R8. 1. 31

(3) 次世代につなぐ梨産地の育成事業（令和6年度～8年度）

将来にわたり日本一の梨産地を維持するため、県の委託を受け「千葉県なしワンストップ窓口」を設置し、梨に関する相談対応や新規参入希望者と産地の調整、梨産地の技術支援のために専門家派遣を行った。

ア 相談窓口の設置：窓口設置の周知、梨園就農希望者からの質問等対応8件
ワンストップ窓口を幅広く周知するため、特設サイト設置、メールマガジン配信等実施した。

イ 産地サポート活動：技術アドバイザーによる新規就農者への指導会、19回
：（うち集合研修1回）

技術アドバイザーによる新規就農者への指導会、2回

ウ 新規参入者向け梨管理マニュアル応用編の作成

新規参入者の生産技術の向上と生産の安定につながるように、栽培マニュアル応用編を作成した。また、基本編にも理解を深めるためコラムを追加掲載した。

(4) 担い手支援対策

青年農業者の確保・育成に向けた農業経営・就農支援センターの就農サポートの取組として、就農相談員を設置し、就農相談を実施するとともに、就農相談会、新規就農者交流会等を開催するなどの活動を、関係機関、農業団体等と連携の上、実施した。

また、農業無料職業紹介所の認可事業所として、農業法人等の求人情報収集や就農希望者に対する就職斡旋を実施した。さらに、担い手の経営課題に対応するためのセンター運営会議に参画した。

<参考>新規就農者数の推移

項目 年度	新規就農者数							
	計		新規自営		雇用就農		新規参入	
		49歳以下		49歳以下		49歳以下		49歳以下
平成23年度	283	250	176	166	56	49	51	35
24年度	416	361	197	179	124	114	95	68
25年度	383	340	186	165	131	126	66	49
26年度	377	346	165	153	123	123	89	70
27年度	402	363	142	136	165	163	95	64
28年度	391	307	170	138	156	115	65	54
29年度	410	367	155	149	148	136	107	82
30年度	341	288	125	104	133	114	83	70
令和元年度	317	232	123	97	107	72	87	63
2年度	314	263	101	92	110	100	103	71
3年度	377	337	112	106	160	154	105	77
4年度	340	309	109	103	137	131	94	75
5年度	321	281	76	75	107	104	138	102
6年度	339	288	83	78	109	103	147	107

※県担い手支援課調べ

ア 実施体制の整備

(ア) 相談窓口の設置及びホームページの更新

サポート専属スタッフ及びプロジェクト専属スタッフを配置するとともに、当協会HPの「千葉県青年農業者等育成センター」のページを「ちばの大地で農業を始める（就農サポート）」に刷新した。

(イ) センター運営会議への出席

農業経営・就農支援センターが月例で行う専門家派遣等の紹介や事業活用を協議する運営会議に11回参画した。

イ 就農サポート活動

(ア) 就農に関する相談活動及び相談カルテの整備

相談者数149名、相談件数158件。うち就農支援カルテ作成15件。

(イ) 千葉県農業無料職業紹介事業

職業安定法に定める農業の職業紹介事業者として、就農希望者の就農相談と併せて雇用関係を結ぶための活動を行った。また、法人・経営体への求人掲載意向を随時調査し、協会HPの求人情報を更新した。

- ・年度末求人登録者数 52法人等。新規登録13法人等。
- ・求職票提出者9名。成立件数1件。

ウ 農業を担うものの確保・育成プロジェクト活動

(ア) 就農情報の収集及び手引書作成

一般社団法人千葉県農業会議の協力のもと就農手引書を 1,500 部作成し、関係機関に配布するとともに、各種イベントや相談活動で活用した。

(イ) 相談会の実施

a 令和 7 年度千葉県農林水産就業相談会

千葉県内の第 1 次産業に興味を持つ方に向けて、各関係機関から農業・林業・漁業の説明を行うとともに先輩就農者の講話を企画した。

- ・令和 7 年 11 月 30 日(日) 会場：千葉市
- ・来訪者：42 名 相談件数 75 件
- ・セミナー形式による就農経験者等の談話 講師 2 名
- ・対面個別就業相談 対面 17 ブース オンライン 14 農業委員会参加。

b 令和 7 年度千葉県「農業の雇用」就業相談会

- ・出展各社の会社案内及び個別相談を実施した。
- ・令和 7 年 2 月 21 日(土) 会場：千葉市
- ・求人出展：9 社、来訪者：36 名

c 新・農業人フェアへの出展

- ・全国の就農に興味を持つ相談者に千葉県での就農について説明した。
- ・東京会場：令和 7 年 9 月 15 日（相談 29 名）、同年 11 月 23 日（相談 27 名）

エ その他の活動

(ア) 新規就農者交流会

新規就農者の定着を図るために先輩就農者の講義と 5 名の就農助言者による分科会を企画し、各々のネットワークを広げる交流会を実施した。

- ・令和 7 年 10 月 7 日（火）千葉市内 参加者 53 名

(イ) 雇用環境整備研修会

- ・農業経営を支える人材の定着・育成セミナーを開催した。
- ・令和 8 年 2 月 5 日（木）千葉市内 参加者 23 名

2 販売対策事業

(1) 農産物販売促進活動

県産農産物の一層の販売促進を図るため、県及び農業団体等と一体となって、園芸品のPR活動や販売促進活動等を実施した。

ア 市場でのPR・販売促進活動

(ア) 秋冬野菜出陣式

- ・期 日：令和7年11月11日
- ・場 所：東京都中央卸売市場 大田市場 東京青果(株)
- ・参加団体：県、JA全農ちば、(公社)千葉県園芸協会
- ・内 容：市場・流通関係者への千葉県秋冬野菜のPR

(イ) 秋冬野菜出陣式

- ・期 日：令和7年11月18日
- ・場 所：東京都中央卸売市場 豊洲市場 東京シティ青果(株)
- ・参加団体：県、JA全農ちば、(公社)千葉県園芸協会
- ・内 容：市場・流通関係者への千葉県秋冬野菜のPR

(ウ) 千葉なし出陣式

- ・期 日：令和7年8月2日
- ・場 所：東京都中央卸売市場 大田市場 東京青果(株)
- ・主 催：千葉県
- ・参加団体：JA全農ちば、(公社)千葉県園芸協会、千葉県果樹連、JA長生、JA市原市、JA西印旛、JA市川市
- ・内 容：千葉県産日本なし主要産地の本格出荷開始に向けたPR

(エ) 千葉県フェア

- ・期 日：令和7年5月～令和8年2月
- ・場 所：首都圏スーパーマーケット
- ・参加団体：県、県内JA、JA全農ちば、(公社)千葉県園芸協会
- ・内 容：首都圏の消費者に対する県産野菜のPR

イ 千葉県庁生活協同組合と連携した消費宣伝活動

県内各産地の認知度を高め農産物の販売促進を図るため、千葉県庁生活協同組合及び生産者団体である「千葉県野菜園芸組合連合会」、「千葉県果樹園芸組合連合会」、「千葉県花き園芸組合連合会」「千葉県いちご組合連合会」と連携し、千葉県庁中庁舎にて県内産農産物の販売を行った。

実施時期	協力JA	販売品目
令和7年5月	JA山武郡市	そら豆
5月	JA山武郡市	とうもろこし
9月	JAいちかわ	梨
令和8年2月	JAかとり JA安房	さつまいも、焼き芋、やまと芋 レタス、南房総レモン、食用なばな



JA かとりのさつまいも・焼き芋・やまと芋（令和 8 年 2 月 4 日）

ウ （一社）日本種苗協会千葉県支部と連携した消費宣伝活動（新規）

（一社）日本種苗協会千葉県支部の会員がお勧めする価値のある品種を県内直売所に提案し、その価値をアピールしながら価値に見合った価格での販売を行った。商品にはチーバくん図柄入りのシールを貼付し、消費者アンケートを実施したほか、生産者にも栽培アンケートを実施し、種苗会社へのフィードバックを行った。

（ア）実施直売所

以下の県内 7 直売所で実施した。

①JA 八千代市「よったいよ」、②道の駅やちよ、③農産物直売所かしわで、④道の駅・水の郷さわら、⑤道の駅くりもと「紅小町の郷」、⑥JA 山武郡市「山武緑の風」、⑦JA 長生ながいき市場

（イ）対象品種数

春夏まき：13 品目 21 品種

秋冬まき：15 品目 28 品種



園芸協会で作成した商品貼付用シール



JA 八千代市での販売の様子

エ 「ちばエコ農産物」の認証に係る現地確認等業務（県委託事業）

当協会で、「ちばエコ農業」に関する指導・助言等を行う「ちばエコ農業」推進アドバイザー（21 名）を登録し、県が実施する「ちばエコ農産物」の認証業務のうち、現地確認業務等を実施した。

（ア）現地確認件数：106 件（個人） 120 件（産地） 合計 226 件（昨年比 91%）

オ ジャパンフラワー強化プロジェクト推進事業の実施

県産花き・植木の需要拡大を図るため、生産や流通、販売等に係る関係者と千葉県花き振興地域協議会を組織し、次の活動を行った。

（ア）小中学校での花育体験の実施（R 7. 10～R 8. 1 31 校 2, 370 名参加）

（イ）高等学校での花育体験の実施（R 7. 10～R 8. 2 15 校 249 名参加）

（ウ）輸出向け植木の根洗い実証（R 7. 8～R 7. 12 匝瑳市 現地ほ場 ほか）

カ ちばの植木生産拡大事業（県委託事業）

県産植木の需要拡大に向け、県から委託を受けて輸出相談窓口の開設・運営、植木見本園の設置、植木生産のPR、植木研修会の開催等を行った。

（ア）輸出相談窓口の開設

相談場所：（公社）千葉県園芸協会 事務所内（千葉市）

相談実績：0件

植木輸出情勢の報告 5件

（イ）有望樹種を提案する植木見本園の設置

令和2年から設置している見本園の維持管理と併せ、実需者から要望が多かった生垣の展示ブースを整備し、刈込の頻度と植生の様子を具体的に示し、実用的な生垣管理の方法を提案した。

（ウ）見本園を活用した植木研修会の開催

生産者と実需者のミスマッチを解消し、今後の安定生産につなげるため、生産者と実需者の意見交換を行った。

内容：植木見本園の視察、情報交換

日時：令和8年2月20日

出席者：25名

（エ）植木生産のPR等

植木見本園を活用し、供給可能樹種をPRするため、カタログを作成した植木共進会の開催に合わせ、植木手入実演会、園芸相談コーナー、植木紹介パネルの設置、各コーナーの装飾、クイズラリーを実施した

（オ）植木研修会の開催

生産者が都市緑化の最新事例及び花き市場を視察し、最新の緑化及び流通状況を学ぶことで、今後の需要に即した生産に資することを目的に視察研修会を開催した。

内容：東京緑化事例視察（大手町の森、シンボルプロムナード公園）、花き卸売市場視察（株式会社フラワーオークションジャパン）

日時：令和7年10月6日

出席者：25名

キ 県産植木の販路拡大事業（県委託事業）

外国人が多く訪れる公共施設や商業施設において県産植木の展示等を行い、輸出拡大等による需要拡大を図った。

（ア）植木展示の実施

期間：令和8年2月7日～16日

場所：成田国際空港第1ターミナル4階 北ウイング3面マルチビジョン前

（イ）植木伝統樹芸技術の実演会等の実施

実施日：令和8年2月7日

場所：成田国際空港第1ターミナル4階 北ウイング3面マルチビジョン前

(2) 地域資源活用価値創出（旧：農山漁村発イノベーション・6次産業化）の推進

ア 相談窓口の設置

農山漁村発イノベーションサポートセンターを令和7年4月15日に開設し、延べ46件の農林漁業者等からの相談があり、電話、メール、対面等により助言を行った。

イ 支援対象者への支援

地域支援検証委員会で決定した4支援対象者に、地域プランナーを派遣し、支援を行った。派遣実績は、延べ12回だった。

ウ 交流会の開催

11月18日に千葉銀行本店大ホールにおいて、「ちばのキラリ 6次産業化・農商工連携 商品開発研修&ニーズマッチングイベント」を開催した。

参加者は32名で、ブース出展は8社だった。

エ 人材育成研修会の開催

10月28日、11月4日にホテルプラザ菜の花において、農福連携、衛生管理、販路開拓、デジタル技術活用等の内容で人材育成研修会を開催した。

受講申込は19名で、出席者は延べ21名であった。4受講者から相談を受け支援を行った。

3 食育促進事業

全国に誇る千葉の園芸農産物「クリアファイル」の作成・配布

食育活動が地域に根ざした継続的な取組として定着するよう、各地域で食育活動に取り組む小学校を対象とした教育機関や生産者団体等に対し、県産農産物を紹介した印刷資材や教材等を提供した。

ア 主な配布先 35団体(市町村・学校給食センター等24団体、小・中学校11校)

イ 配布実績 8,000部(上限500枚/1ヶ所、先着順により、希望数を提供)

4 情報活動事業

(1) ホームページによる情報発信

協会ホームページにより、以下の情報を発信した。

ア 組織概要：定款、役員名簿、会員名簿、事業計画・収支予算、事業報告・収支決算など

イ 生産者団体(野菜連・果樹連・花き連・植木連・いちご連)の ページを作成し、組織概要、活動に関しての情報提供など

ウ 各種事業の活動紹介、事業案内、流通情報、農地情報、農地中間管理事業内容、集積推進状況など

エ 主催行事(共進会、フェスティバル 等)の紹介など

(2) 機関紙「千葉の園芸」の発行

機関紙「千葉の園芸」を毎月発行し、技術情報や行政情報、優良産地の取組事例などを紹介した。

ア 発行日：毎月 1 日（全 6 頁）

イ 発行方法

（ア）協会ホームページへの掲載

（イ）紙媒体での作成 発行 280 部／月

ウ 配付先

会員（県内農協・市町村等）、県内生産者、卸売市場関係者、行政関係部署

第3 野菜価格補償事業（公益目的事業2）

本事業は、主要野菜を計画的に生産出荷する産地において、市場価格が下落した際に、その減収となった差額を生産者に補給することで、再生産可能な経営を維持し、消費者に青果物を安定的に供給することを目的としている。野菜生産出荷安定法における「野菜指定産地」を対象とした指定野菜価格安定対策事業に準じ、園芸協会では、県単事業の（1）千葉県青果物価格補償事業と、国庫事業の（2）特定野菜等供給産地育成価格差補給事業を実施している。

1 令和7年度の青果物に係る生産・販売概況

令和7年度春作は、年明け以降の干ばつ・低温により生育に停滞がみられ、青果物の入荷量はやや減～前年並みで推移した。特に、ねぎ、にんじん等が前年より入荷量が減少したため単価は前年を上回った。また5～6月にはねぎ等で、7月にはキャベツ等で、生育回復等により前年入荷量を上回った。

秋冬作については、高温の影響もみられたが、青果物の入荷量は前年比やや増で推移した。特に、播種・定植時期を遅らせるなどして、キャベツ、大根、ねぎ等で前年より入荷量が増加したため、単価は前年を下回った。

年明けは、干ばつの影響により肥大不足が見られるものの、青果物の入荷量は前年比やや増で推移した。特に、にんじん、ねぎ等は、前年より入荷量が増加したため単価は前年を上回った。

2 交付金の交付状況（事業年度ベース）

（1）千葉県青果物価格補償事業

キャベツの5月～7月、レタスの1月～3月、わけぎの4～5月、11月～12月、3月、サラダ菜の7月等で販売単価が低調となり、補償交付金 15,944,860 円を交付した。品目別の交付金は以下のとおり。

キャベツ	3,589,338 円	ねぎ	780,062 円
ごぼう	539,438 円	ほうれんそう	429,831 円
だいこん	0 円	レタス（結球）	1,002,251 円
トマト	756,999 円	わけぎ	6,553,807 円
にんじん	0 円	サラダ菜	2,293,134 円
		小計	15,944,860 円

（2）特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

ア 特定野菜供給産地育成価格差補給事業

ブロッコリーの2月中旬～3月上旬で販売単価が低調となり、価格差補給交付金 326,937 円を交付した。品目別の交付金は以下のとおり。

かぶ	0 円	ブロッコリー	280,521 円
そらまめ	0 円	ながいも以外のやまのいも	0 円
にら	46,416 円		
		小計	326,937 円

イ 指定野菜供給産地育成価格差補給事業

夏秋キャベツの7月上中旬、冬キャベツの12月上中旬、1月～3月、春だいこんの6月中下旬等で販売単価が低調となり、価格差補給交付金1,738,617円を交付した。品目別の交付金は以下のとおり。

夏秋キャベツ	403,474 円	冬春トマト	10,200 円
冬キャベツ	1,301,622 円	夏秋きゅうり	0 円
春だいこん	22,905 円	冬にんじん	416 円
冬春ミニトマト	0 円		
		小計	1,738,617 円

3 研修会の開催

(1) 令和7年度第1回野菜価格安定対策事業説明会

- ア 期 日：令和7年7月24日（木）
- イ 開催方法：Web会議
- ウ 参集範囲：JA等
- エ 参加人数：40名
- オ 内 容：野菜価格安定対策事業の概要及び事務手続き等

(2) 令和7年度第2回野菜価格安定対策事業説明会

- ア 期 日：令和7年9月29日（月）
- イ 開催方法：Web会議
- ウ 参集範囲：JA等、市町村、農業事務所
- エ 参加人数：36名
- オ 内 容：野菜価格安定対策事業の概要
情報提供「データを活用した野菜品目の見える化」

第4 農地中間管理事業（公益目的事業3）

農業経営の規模拡大、農用地の集積・集約及び新たに農業経営を営もうとする者の参入の促進等により農地利用の効率化及び高度化を図るため、農地中間管理機構（以下「機構」という）として、農地所有者と耕作者の間に立って農地の貸借等を行った。

1 事業実績

（1）年度別実績の推移

借入面積は2,496ha、転貸面積は2,795haとなった。

区 分	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
借受面積(ha)	1,311	1,662	1,241	1,805	2,496
借受件数(件)	2,917	3,620	2,834	3,992	5,709
転貸面積(ha)	1,489	1,844	1,563	2,003	2,795
転貸件数(件)	3,284	1,673	1,745	1,316	2,036

※農業経営基盤強化促進法の改正により、市町村が行ってきた利用権設定等促進事業は令和6年度末をもって終了し、令和7年度以降は農地中間管理事業による権利設定が、農地の集積・集約化を進める主な手段となったことから令和7年度は大幅に増加した。

（2）令和7年度の実績

ア 農地の借受、転貸の状況

区 分	農 地		
	件 数	面 積	累計 (H26～R7)
借受	5,709件	2,496ha	12,459ha
転貸	2,036件	2,795ha	11,962ha

イ 転貸先の状況

担い手（認定農業者、認定新規就農者、基本構想水準到達者）への転貸としては、件数が1,255件と約6割、面積が2,352haと8割以上を占めた。経営体としては個人が1,728件（1,775ha）、法人が242件（1,020ha）となった。

転貸先	経営体数	転貸面積(ha)
(1) 個人	1,728	1,775
ア 認定農業者	744	1,068
イ 認定新規就農者	63	44
ウ 基本構想水準到達者	232	252
エ その他	689	411
(2) 法人	242	1,020
ア 認定農業者	195	774
イ 認定新規就農者	4	2
ウ 基本構想水準到達者	17	211
エ その他	26	33
(1) + (2) の合計	1,970	2,795
うち担い手 ((1) ア～ウ + (2) ア～ウ)	1,255	2,352
B/A	63.7%	84.2%

ウ 令和7年度農地中間管理事業による農地の貸借実績

	市町村	令和6年度実績					令和7年度実績					令和7年度末時点(累計)	
		機構 借受面積 (ha)	件数 ※1	機構 転貸面積 (ha)	うち 新規 集積面積 (ha)	件数 ※2	機構 借受面積 (ha)	件数 ※1	機構 転貸面積 (ha)	うち 新規 集積面積 (ha)	件数 ※2	機構 借受面積 (ha)	機構 転貸面積 (ha)
千葉	千葉市	85.0	248	88.9	42.7	40	81.0	189	81.9	22.9	69	317.6	317.5
	習志野市	0.8	4	0.8		4	2.2	8	2.2	0	5	3.5	3.5
	市原市	68.3	147	68.7	39.4	35	46.9	124	50.3	29.8	39	511.1	330.1
	八千代市	30.6	116	30.6	23.3	6	75.8	228	75.8	0.3	29	123.6	122.7
	小計	184.7	515	189.0	105.5	85	206.0	549	210.3	53.1	142	955.8	773.8
東葛飾	市川市						1.8	8	1.8	0.3	8	1.8	1.8
	船橋市						22.5	69	22.5	18.3	47	22.5	22.5
	松戸市	3.8	18	3.8	1.6	11	6.3	25	6.3	0.2	28	9.7	9.7
	野田市	7.8	29	9.8	7.0	2	9.3	35	16.8	6.4	16	192.9	188.8
	柏市	12.5	35	14.5	6.0	14	46.1	128	47.0	15.1	37	267.5	266.2
	流山市	0.1	1	0.1		2	9.1	43	9.1	5.6	24	9.0	9.0
	我孫子市	70.7	159	76.3	40.9	31	34.9	73	42.5	14.3	38	252.2	252.2
	鎌ヶ谷市						9.6	20	9.6	5.5	14	9.4	9.4
	小計	94.9	242	104.5	55.4	60	139.7	401	155.8	65.5	212	764.9	759.5
印旛	成田市	222.3	346	241.9	107.4	156	200.6	344	210.3	33.4	147	1,176.3	1,164.8
	佐倉市	30.9	94	30.9	11.3	39	43.4	136	49.3	30.0	46	169.4	163.5
	四街道市						18.5	56	18.3	1.9	22	21.4	21.2
	八街市	30.9	38	36.3	1.4	12	57.9	67	58.5	14.7	42	113.8	113.8
	印西市	11.3	10	12.3	9.5	7	33.8	49	33.8	7.7	36	118.3	118.3
	白井市	1.3	1	1.3		1	2.0	7	2.0	1.6	4	4.9	4.9
	富里市	13.8	9	13.8	0.6	21	51.3	88	52.1		58	95.4	95.3
	酒々井町						0.2	1	0.2	0.2	1	3.5	3.2
	栄町	23.3	20	50.5	36.2	23	14.0	29	32.6	13.8	13	522.8	502.7
	小計	333.8	518	386.9	166.4	259	421.7	777	457.1	103.3	369	2,225.8	2,187.6
香取	香取市	437.8	820	487.9	317.9	304	554.3	1074	719.6	510.7	364	2,955.3	2,942.7
	神崎町	14.5	19	17.5	4.3	9	18.4	33	22.9	0.9	18	171.4	144.2
	多古町	11.8	23	12.4	5.2	10	118.8	161	119.2	111.3	17	171.5	171.5
	東庄町	68.5	137	68.5	45.3	9	68.6	143	68.6	28.5	30	170.7	170.7
	小計	532.5	999	586.3	372.8	332	760.1	1411	930.4	651.4	429	3,469.0	3,429.1
海匠	銚子市						19.3	54	19.3	5.2	54	20.8	20.8
	旭市	24.0	69	26.0	24.6	18	34.9	55	37.3	33.9	38	325.4	325.1
	匝瑳市	9.2	21	11.5	10.2	12	38.7	62	38.1	20.9	31	317.1	316.9
	小計	33.1	90	37.6	34.9	30	92.9	171	94.7	60.1	123	663.3	662.8
山武	東金市	22.4	30	22.5	12.0	14	10.0	22	10.0	8.8	8	191.5	189.0
	山武市	58.1	112	62.0	10.8	41	44.9	87	45.2	26.7	38	510.9	502.0
	大網白里市	11.9	27	11.9	6.7	12	18.8	36	18.8	7.3	26	93.9	93.3
	九十九里町	7.1	15	7.3	3.2	8	4.9	14	4.9		5	48.7	48.5
	芝山町	1.7	2	1.7		3	8.3	14	8.3	3.9	11	23.8	23.8
	横芝光町	49.7	81	50.2	31.1	12	16.5	44	18.3	15.7	13	225.2	223.8
	小計	150.9	267	155.7	63.9	90	103.4	217	105.5	62.3	101	1,094.0	1,080.3
長生	茂原市	76.0	215	76.0	24.0	65	69.3	194	71.1	29.8	71	262.6	262.6
	一宮町	22.6	69	23.0	10.1	17	35.6	93	35.6	9.6	29	115.0	114.9
	睦沢町	1.0	6	1.0	0.7	2	74.0	196	74.0	3.6	24	106.5	106.5
	長生村	84.4	220	86.5	24.3	52	107.9	233	108.3	26.8	61	268.2	268.2
	白子町	22.0	45	22.0	12.9	22	27.3	70	30.2	9.3	48	145.4	145.4
	長柄町	2.4	5	2.4		2	3.0	8	3.8		7	7.0	6.4
	長南町	39.3	110	48.2	15.6	11	93.7	238	99.5	17.4	65	299.6	294.6
	小計	247.8	670	259.1	87.5	171	410.6	1032	422.4	96.5	305	1,204.3	1,198.6
夷隅	勝浦市	13.9	35	13.9		1	18.7	57	18.7	3.7	19	138.9	33.2
	いすみ市	4.3	21	15.8	9.6	19	18.2	57	20.5	4.6	22	340.4	268.6
	大多喜町	20.6	52	21.4	4.3	27	20.1	57	20.4	2.4	26	53.9	52.2
	御宿町	0.5	4	0.5	0.2	2						7.3	7.3
	小計	39.3	112	51.6	14.2	49	57.0	171	59.6	10.7	67	540.5	361.3
安房	館山市	23.8	84	25.1	15.0	25	39.1	120	39.7	6.0	58	124.4	122.0
	鴨川市	0.3	4	0.9	0.3	4	30.9	63	30.9		25	126.3	108.3
	南房総市	55.4	234	59.6	28.3	60	111.4	452	115.8	29.0	125	415.5	411.7
	鋸南町	0.1	1	0.1		1						1.0	1.0
	小計	79.6	323	85.7	43.6	90	181.5	635	186.4	35.0	208	667.2	643.0
君津	木更津市	21.3	72	21.9	16.6	12	38.3	144	42.8	35.5	15	222.4	219.7
	君津市	72.9	140	101.4	41.0	53	37.4	89	76.6	18.3	35	349.8	345.7
	富津市	11.6	31	11.6	9.1	7	13.0	40	17.3	10.4	12	124.9	124.9
	袖ヶ浦市	2.6	13	11.4	5.7	2	34.2	72	35.7	11.1	18	176.9	175.3
	小計	108.4	256	146.4	72.5	74	123.0	345	172.5	75.2	80	873.9	865.6
県合計		1,805	3,992	2,003	1,017	1,240	2,496	5,709	2,795	1,213	2,036	12,459	11,962

※1 機構へ農地を貸付けた地権者数(件)のこと。

※2 機構から農地を借受けた借受者数(件)のこと。

エ 業務委託の状況

機構業務の一部を市町村や土地改良区に委託し、農地集積、耕作放棄地対策を推進した。

(ア) 委託先及び委託内容

委託先	委託内容
27 市町村 2 法人 9 土地改良区 (我孫子市、佐倉市、八街市、印西市、富里市、栄町、香取市、神崎町、多古町、匝瑳市、山武市、横芝光町、茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長南町、勝浦市、いすみ市、大多喜町、館山市、鴨川市、木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、成田市農業センター、南房総農業支援センター市原市海上土地改良区、市原市佐是土地改良区、東葛北部土地改良区、印旛沼土地改良区、両総土地改良区、長生郡長南町東部土地改良区、安房中央土地改良区、天羽土地改良区、梶山堰土地改良区)	①相談窓口 ②借受予定農用地の現地確認 ③出し手への協議 ④出し手・受け手との条件整備 ⑤契約締結に係る事務支援

(イ) 委託費の総額

精算額 : 81, 173, 889 円

2 会議の開催

(1) 農地中間管理事業評価委員会

農地中間管理事業の適正な実施を図るため、事業に対して客観的かつ中立公正な判断ができる者を委員とした評価委員会を開催した。

各委員の意見については、ホームページで公表するとともに理事会へ報告し、事業推進に反映させた。

期 日：令和7年6月12日（木）

場 所：千葉県教育会館 本館2階 会議室

出席者：委員4名、関係機関2名、事務局6名

内 容：令和6年度農地中間管理事業実施状況及び実績等に係る資料を説明し、意見を聴取した。各委員からいただいた意見等は以下のとおり。

昨今の米価格高騰問題もあり、国民の農業への関心も高まっている状況である。

担い手への集積率が過去10年間で10%の上昇と目標達成は難しい状況であるが、農地集積を進めていくことが重要であり、引き続き取り組みを進めていただきたい。

ア 受け手からの賃料未収について

受け手からの賃料未収について、引き続き回収努力に努めていただきたい。未収金発生背景としては経営力が伴わないことが一つの要因となるため、県農業事務所の普及活動等による経営サポートを進めていただきたい。経営サポートに当たっては以下に留意すべきである。

新規就農（参入）や新たな作物栽培へのチャレンジは魅力的であるが、リスクも大きいことに留意して指導する。

消費者としては食の安全が重要であるため、ちばエコ農業等の特色ある取組により、少しでも受け手の経営安定につながるよう支援する。

イ 地域計画について

これからの農業振興は地域計画がベースとなるため、作成されていない地域では合意形成を進め、早期に地域計画を作成していただきたい。なお、農地の条件等によるゾーニングをしながら作成することに留意すべきである。

ウ 今後とも農地中間管理事業を推進していくために、必要な補助金を確保していただきたい。

（２）県・関係機関との会議等

開催日	内 容	出席団体等
4/25	【農地利用集積関連事業担当者説明会】 ・農地利用集積について ・地域計画について ・農地中間管理事業につて ・農地耕作条件改善事業について ・遊休農地対策について	関東農政局千葉県拠点、市町村、農業委員会、県農業会議、県農協中央会、土地改良区、農業事務所、県関係課
10/7	【農地中間管理機構地方ブロック会議】 ・令和８年度予算概算要求 ・各県との意見・情報交換	農林水産省、関東農政局、各都県機構、全国農地保有合理化協会
11/21	【千葉県農業担い手確保育成・農地利用最適化シンポジウム】 ・基調講演 ・若手農業者事例発表	担い手たる農業者、農業委員、農地利用最適化推進委員、市町村等
12/17	【農業参入フェア 2025】 ・県ブースによる農業参入相談	各県等団体 約 250 名
1/27	【千葉県農地利用集積推進本部会議】 ・農地集積の進捗について ・地域計画の策定状況について 等	県関係課、農業事務所、県農業会議
1/28・29	【第２回農地利用集積関連事業担当者説明会】 ・農地売買等事業について ・農地中間管理事業について	関東農政局千葉県拠点、市町村、農業委員会、県農業会議、全農千葉県本部、県農協中央会、県共済組合、県酪農組合、県米穀集荷組合、公庫千葉支店、県土連、土地改良区、農業事務所、県関係課
3/17	【農地中間管理機構担当部課長会議】 ・令和８年度農地中間管理事業関連予算 ・令和８年度税制改正 等	各都県機構、全国農地保有合理化協会、農林水産省、全国農業会議所
4/15～ 3/13	【地域計画策定（変更）に係る協議の場への参加】 ・地域計画について	農業者、市町村、農業委員会、農業事務所等 各地域累計 37 回参加

3 PR活動

農業者及び土地持ち非農家等に対し、農地中間管理事業を周知するため以下の内容を実施した。

(1) パンフレットの作成配布

農地中間管理事業パンフレット

配布：1万1千部

内容：事業の仕組み、地域計画の作成、機構集積協力金の概要、Q & A

配布先：市町村、農業事務所、J A、土地改良区等

(2) 広報誌等への掲載

ア 市町村等広報誌への記事記載

市町村・農業委員会及び関係機関へは原稿案を送付し、記事掲載を依頼

イ 千葉の園芸（千葉県園芸協会広報誌）への記事掲載

（千葉県園芸協会ホームページ、会員への郵送）

4 関連事業

(1) 遊休農地解消緊急対策事業

農地の有効利用を図るため草刈り、耕起等の簡易な整備により遊休農地の解消を行った。

・令和7年度の実施状況

市町村	解消面積（㎡）	事業費（円）
富里市	6,500	286,000

(2) 農地売買支援事業（農業経営基盤強化促進法）（収益事業）

空港関連事業

空港周辺農用地の買入れ、売渡し、管理、貸付け及び代替地の管理、譲渡等については、売渡し、管理、貸付けのみ実施した。

ア 空港への名義変更

市町村	筆数	面積
多古町	8	20,508 ㎡

イ 管理

市町村	筆数	面積
成田市、芝山町、酒々井町	112筆	145,174 ㎡

ウ 貸付け（上記管理面積の内）

市町村	耕作者	筆数	面積
成田市、芝山町、酒々井町	11人	30筆	52,063 ㎡

第5 組織力強化対策事業（共益事業）

1 組織活動支援事業

県内生産者の組織化を促進することにより、経営力の向上を図るとともに、安定した品質での園芸農産物の供給力を高めるため、生産から販売面までの生産者の自主的組織活動を支援した。

（1）事業の支援内容

- ア 消費拡大事業（産品の理解促進、イベントの開催、出展、共進会等）
- イ 担い手対策事業（研修会、講演会等）
- ウ 各種連合会の部会活動の推進

（2）実施内容

ア 野菜関係組織活動推進事業

事業名	期 日	場所等
販促資材配付	令和8年3月	「千葉の園芸」クリアファイル 8,000部
県庁生協と連携した消費宣伝活動	令和7年5月～令和8年2月 (そら豆、とうもろこし、梨、さつまいも、レタス、なばな)	県庁内生協店舗 (実施：5回) *協力：JA 山武郡市・JA いちかわ・JA かとり・JA 安房
県産野菜の販売促進PR活動	通年	関東・近畿エリアの量販店等
県産野菜優良品種産地定着促進	令和7年7月～令和8年3月	年内産地 1ヶ所
園芸産地活性化支援	通年	県内外 5回

イ 果樹関係組織活動推進事業

事業名	期 日	場所等
温室びわキャンペーン	令和7年5月	南房総市
房州びわキャンペーン	令和7年6月	習志野市・千葉市
なしポスター作成	令和7年7月	県内全域
千葉なし生産販売対策会議	令和7年7月	千葉市
なしリーフレット作成	令和7年8月	県内全域
びわ栽培ガイドブック配付	令和7年9月	県内全域
かんきつ現地研究会	令和7年10月	千葉市
びわ研修会	令和7年11月	南房総市

千葉なし出荷反省会	令和 7 年 11 月	千葉市
なし研修会	令和 7 年 11 月	千葉市
いちじく研修会	令和 7 年 11 月	農林総合研究センター
びわ広報映像作成	令和 8 年 2 月	館山市
かんきつ研修会	令和 8 年 2 月	館山市

ウ 花き関係組織活動推進事業

事業名	期 日	場所等
千葉県フラワーフェスティバル	令和 8 年 1 月	そごう千葉店
花き流通実態調査	令和 7 年 11 月	都市場 7ヶ所
市場での販促活動	令和 8 年 2 月	東京フラワーポート(株)
花育事業の推進	通年	県内・全域
販売促進資材の作成	通年	県内・全域
生産改善研修会の開催	令和 7 年 10 月	県内・全域
後継者対策研修会	令和 7 年 10 月	J A きみつ 周南支店
カーネーション部会等、各部会活動の推進	通年	県内・全域

エ 植木関係組織活動推進事業

事業名	期 日	場所等
千葉県植木共進会 (千葉県植木まつり)	令和 7 年 10 月	道の駅 みのりの郷東金 (311 点)
見本園を活用した流通関係者との意見交換会	令和 7 年 10 月	千葉県園芸協会 種苗センター(長生村) 都内市場植栽施設 (25 名)

オ いちご関係組織活動推進事業

事業名	期 日	場所等
いちご研修会	令和 7 年 7 月	山武市
県外視察研修会	令和 7 年 11 月	春日部市

YouTube いちご研修会	令和7年9月 令和8年4月	県内・全域
メディアを通じたいちごのPR	令和7年9月 令和8年1月	千葉市
原種苗委託増殖事業	令和7年10月	成田市・長生村
いちご販売促進資材の作成	令和7年12月	県内全域

2 活動促進事業

以下の団体に取り組む活動を支援し、連携強化を図った。

- (1) 千葉県農業者総合支援センター（会員）
- (2) 一般社団法人千葉県農業会議（会員）
- (3) 千葉県農業用廃プラスチック対策協議会（会員）
- (4) 一般社団法人千葉県農業協会（会員）
- (5) 千葉県花き振興地域協議会（協議会事務局／運営・支援）

3 大会等への参加

- (1) 千葉県青果物流通懇談会

開催日：令和8年1月15日（木）

場所：オークラ千葉ホテル

主催：全農千葉県本部

出席団体：卸売市場、県、（公社）千葉県園芸協会

- (2) 県立農業大学校の今後の学びに関する検討会

開催日：令和7年9月4日（木）

場所：県立農業大学校

主催：全農千葉県本部

出席団体：県、指導農業士会、高等学校教育研究会農業部会、全農千葉県本部、
（一社）千葉県農業会議、（公社）千葉県園芸協会

正味財産増減計算書
令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	1,260,514	298,345	962,169
特定資産運用益計	1,260,514	298,345	962,169
受取会費			
正会員受取会費	36,905,120	36,372,460	532,660
賛助会員受取会費	1,590,000	1,510,000	80,000
受取会費計	38,495,120	37,882,460	612,660
事業収益			
販売用農地売却収入	0	7,077,584	△ 7,077,584
農地賃貸料収益	979,521,717	681,413,819	298,107,898
農地管理収益	3,890,724	4,816,323	△ 925,599
空港農地直接経費収益	221,500	222,000	△ 500
事業収益計	983,633,941	693,529,726	290,104,215
受取補助金等			
受取国庫補助金	225,599,564	188,953,924	36,645,640
受取県補助金	12,868,213	12,300,000	568,213
受取補助金等計	238,467,777	201,253,924	37,213,853
受取負担金			
価格補償事業運営費	4,500,000	4,500,000	0
受取負担金計	4,500,000	4,500,000	0
雑収益			
受取利息	698,020	260,905	437,115
雑収益	186,920	143,784	43,136
諸引当金戻入額	1,400		1,400
雑収益計	886,340	404,689	481,651
受取県受託金	86,477,380	84,899,337	1,578,043
受取受託金	86,477,380	84,899,337	1,578,043
経常収益計	1,353,721,072	1,022,768,481	330,952,591
(2) 経常費用			
事業費計	1,333,498,926	1,005,948,044	327,550,882
管理費計	14,967,260	13,838,341	1,128,919
経常費用計	1,348,466,186	1,019,786,385	328,679,801
評価損益等調整前当期経常増減額	5,254,886	2,982,096	2,272,790
当期経常増減額	5,254,886	2,982,096	2,272,790
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益計	8,381,123	0	8,381,123
(2) 経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	8,381,123	0	8,381,123
税引前当期一般正味財産増減額	13,636,009	2,982,096	10,653,913
法人税、住民税及び事業税	445,500	479,000	△ 33,500
当期一般正味財産増減額	13,190,509	2,503,096	10,687,413
一般正味財産期首残高	120,364,590	117,861,494	2,503,096
一般正味財産期末残高	133,555,099	120,364,590	13,190,509
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	150,000,000	150,000,000	0
指定正味財産期末残高	150,000,000	150,000,000	0
III 正味財産期末残高	283,555,099	270,364,590	13,190,509

正味財産増減計算書内訳表
令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計						収益事業等会計			法人会計	合計
	公益目的事業 会計	生産振興対策 事業(公1)	野菜価格補償 事業(公2)	農地中間管理 事業(公3)	共通	小計	農地元質文援 事業(収益事 業)	組織力強化対 策事業(共益事 業)	小計		
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
特定資産運用益											
特定資産受取利息										1,260,514	1,260,514
特定資産運用益計										1,260,514	1,260,514
受取会費											
正会員受取会費		17,550,000	250,000	400,000	252,560	18,452,560		1,272,000	1,272,000	17,180,560	36,905,120
賛助会員受取会費			25,000		770,000	795,000				795,000	1,590,000
受取会費計		17,550,000	275,000	400,000	1,022,560	19,247,560		1,272,000	1,272,000	17,975,560	38,495,120
事業収益											
農地賃貸料収益				979,197,170		979,197,170	324,547		324,547		979,521,717
農地管理収益							3,890,724		3,890,724		3,890,724
空港農地直接経費収益							221,500		221,500		221,500
事業収益計				979,197,170		979,197,170	4,436,771		4,436,771		983,633,941
受取補助金等											
受取国庫補助金				225,599,564		225,599,564					225,599,564
受取県補助金		9,800,000				9,800,000	3,068,213		3,068,213		12,868,213
受取補助金等計		9,800,000		225,599,564		235,399,564	3,068,213		3,068,213		238,467,777
受取負担金											
価格補償事業運営費			4,500,000			4,500,000					4,500,000
受取負担金計			4,500,000			4,500,000					4,500,000
雑収益											
受取利息		13,136	501,113	61		514,310	65,367		65,367	118,343	698,020
雑収益				158,600		158,600				28,320	186,920
諸引当金戻入益				1,400		1,400					1,400
雑収益計		13,136	501,113	160,061		674,310	65,367		65,367	146,663	886,340
受取県受託金		84,732,380	1,745,000			86,477,380					86,477,380
受取受託金		84,732,380	1,745,000			86,477,380					86,477,380
経常収益計		112,095,516	7,021,113	1,205,356,795	1,022,560	1,325,495,984	7,570,351	1,272,000	8,842,351	19,382,737	1,353,721,072
(2) 経常費用											
事業費											
役員報酬		1,399,200	1,399,200	6,417,048		9,215,448	478,152		478,152		9,693,600
給料手当		57,391,384	4,205,660	76,756,895		138,353,939	1,476,708		1,476,708		139,830,647
臨時雇賃金		7,364,687		4,545,579		11,910,266					11,910,266
退職給付費用		962,610				962,610	593,710		593,710		1,556,320
法定福利費		11,155,384	256,186	13,035,280		24,446,850	294,241		294,241		24,741,091
福利厚生費		200,381		218,172		418,553	20,790		20,790		439,343
旅費交通費		3,116,093	24,681	1,693,783		4,834,557	13,466		13,466		4,848,023
通信運搬費		701,034	83,721	8,109,465		8,902,250	18,042		18,042		8,920,292
通信広告料(事業)		374,000			8,030	374,000					374,000
機械装置減価償却費(事業)		378,724				378,724					378,724
消耗品費		981,414	92,401	1,434,671	1,014,608	3,523,094	653,299		653,299		4,176,393
修繕費		204,600		43,450		248,050					248,050
印刷製本費		1,276,550		411,950		1,688,500					1,688,500
資材費		6,061,097				6,061,097					6,061,097
会議費		843,082		35,560		878,642					878,642

	光熱水道費	3,170,679		344,396		3,515,075				3,515,075	
	賃借料	2,907,326	161,061	8,264,041		11,332,428	356,695		356,695	11,689,123	
	諸謝金	3,278,074				3,278,074				3,278,074	
	報償費	112,730		52,000		164,730				164,730	
	支払報酬			605,000		605,000				605,000	
	租税公課	6,987,788	141,829	11,200		7,140,817	566,777		566,777	7,707,594	
	支払負担金	30,000				30,000	270,000	405,000	675,000	705,000	
	支払助成金							867,000	867,000	867,000	
	委託費	5,280,877	709,143	88,889,247		94,879,267	100,626		100,626	94,979,893	
	農地賃借料			985,367,095		985,367,095	324,547		324,547	985,691,642	
	中間管理農用地管理費			8,236,901		8,236,901				8,236,901	
	支払手数料	24,545	1,386	29,502		55,433	2,838		2,838	58,271	
	雑費	254,415		1,220		255,635				255,635	
	事業費計	114,456,674	7,075,268	1,204,502,455	1,022,638	1,327,057,035	5,169,891	1,272,000	6,441,891	0	1,333,498,926
	管理費										
	役員報酬									2,798,400	2,798,400
	給料手当									4,592,240	4,592,240
	退職給付費用									1,199,090	1,199,090
	法定福利費									3,065,169	3,065,169
	福利厚生費									74,005	74,005
	会議費									258,732	258,732
	旅費交通費									426,897	426,897
	通信運搬費									614,785	614,785
	消耗品費									470,876	470,876
	修繕費									22,000	22,000
	賃借料									1,121,422	1,121,422
	租税公課									2,296	2,296
	支払手数料（管理）									15,429	15,429
	委託費									274,039	274,039
	雑費									31,880	31,880
	管理費計									14,967,260	14,967,260
	経常費用計	114,456,674	7,075,268	1,204,502,455	1,022,638	1,327,057,035	5,169,891	1,272,000	6,441,891	14,967,260	1,348,466,186
	評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,361,158	△ 54,155	854,340	△ 78	△ 1,561,051	2,400,460	0	2,400,460	4,415,477	5,254,886
	当期経常増減額	△ 2,361,158	△ 54,155	854,340	△ 78	△ 1,561,051	2,400,460	0	2,400,460	4,415,477	5,254,886
2. 経常外増減の部											
（1）経常外収益											
その他の経常外収益											
過年度損益修正益				8,381,123		8,381,123					8,381,123
その他の経常外収益計				8,381,123		8,381,123					8,381,123
経常外収益計				8,381,123		8,381,123					8,381,123
（2）経常外費用											
経常外費用計											
当期経常外増減額				8,381,123		8,381,123					8,381,123
他会計振替前当期一般正味財産増減額		△ 2,361,158	△ 54,155	9,235,463	△ 78	6,820,072	2,400,460	0	2,400,460	4,415,477	13,636,009
他会計振替額	1,173,541					1,173,541	△ 1,173,541		△ 1,173,541		0
税引前当期一般正味財産増減額	1,173,541	△ 2,361,158	△ 54,155	9,235,463	△ 78	7,993,613	1,226,919	0	1,226,919	4,415,477	13,636,009
法人税、住民税及び事業税							445,500		445,500		445,500
当期一般正味財産増減額	1,173,541	△ 2,361,158	△ 54,155	9,235,463	△ 78	7,993,613	781,419	0	781,419	4,415,477	13,190,509
一般正味財産期首残高	49,386,914	△ 48,374,473	27,138,817	△ 14,314,295	11,504,315	25,341,278	13,396,022	△ 2,902,606	10,493,416	84,529,896	120,364,590
一般正味財産期末残高	50,560,455	△ 50,735,631	27,084,662	△ 5,078,832	11,504,237	33,334,891	14,177,441	△ 2,902,606	11,274,835	88,945,373	133,555,099
II 指定正味財産増減の部											
当期指定正味財産増減額											
指定正味財産期首残高										150,000,000	150,000,000
指定正味財産期末残高										150,000,000	150,000,000
III 正味財産期末残高		50,560,455	△ 50,735,631	27,084,662	△ 5,078,832	11,504,237	33,334,891	14,177,441	△ 2,902,606	11,274,835	238,945,373
										238,945,373	283,555,099

貸借対照表
令和 8年 3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	223,822,333	200,051,003	23,771,330
未収金	47,019,723	46,589,535	430,188
販売用農地(空港関連農地)	870,140,201	870,140,201	0
前払費用	152,670	99,000	53,670
仮払金	7,483	0	7,483
貸倒引当金	△ 2,046,537	△ 2,047,937	1,400
流動資産合計	1,139,095,873	1,114,831,802	24,264,071
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計			
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	19,752,340	16,996,930	2,755,410
青果物価格補償事業引当資産	375,567,447	399,041,774	△ 23,474,327
事業円滑化積立資産	150,000,000	150,000,000	0
特定資産合計	545,319,787	566,038,704	△ 20,718,917
(3) その他固定資産			
機械装置	665,809	1,044,533	△ 378,724
合理化事業 長期未収金	384,000	402,000	△ 18,000
保証金	30,000	30,000	0
外部出資金	350,000	350,000	0
その他固定資産合計	1,429,809	1,826,533	△ 396,724
固定資産合計	546,749,596	567,865,237	△ 21,115,641
資産合計	1,685,845,469	1,682,697,039	3,148,430
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	92,569,563	72,507,921	20,061,642
未払費用	7,915,775	7,376,410	539,365
未払消費税等	1,932,400	2,334,000	△ 401,600
預り金	2,675	0	2,675
仮受金	23,667,224	31,677,614	△ 8,010,390
未払法人税等	445,500	479,000	△ 33,500
担い手支援資金借入金	2,231,038	1,712,392	518,646
1年以内返済長期借入金	2,000,000	2,000,000	0
流動負債合計	130,764,175	118,087,337	12,676,838
2. 固定負債			
農業開発公社清算費用長期借入金	92,000,000	94,000,000	△ 2,000,000
退職給付引当金	19,752,340	16,996,930	2,755,410
青果物価格補償事業預り金	375,567,447	399,041,774	△ 23,474,327
農地預り金	784,206,408	784,206,408	0
固定負債合計	1,271,526,195	1,294,245,112	△ 22,718,917
負債合計	1,402,290,370	1,412,332,449	△ 10,042,079
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体助成金	150,000,000	150,000,000	0
指定正味財産合計	150,000,000	150,000,000	0
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)	(150,000,000)	(150,000,000)	(0)
2. 一般正味財産	133,555,099	120,364,590	13,190,509
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	283,555,099	270,364,590	13,190,509
負債及び正味財産合計	1,685,845,469	1,682,697,039	3,148,430

貸借対照表内訳表
令和 8年 3月31日現在

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	177,387,897	38,491,153	7,943,283	223,822,333
未収金	40,060,786	6,958,937		47,019,723
販売用農地(空港関連農地)		870,140,201		870,140,201
前払費用	61,500	82,500	8,670	152,670
仮払金			7,483	7,483
貸倒引当金	△ 2,046,537			△ 2,046,537
流動資産合計	215,463,646	915,672,791	7,959,436	1,139,095,873
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産合計				
(2) 特定資産				
退職給付引当資産			19,752,340	19,752,340
青果物価格補償事業引当資産	375,567,447			375,567,447
事業円滑化積立資産			150,000,000	150,000,000
特定資産合計	375,567,447		169,752,340	545,319,787
(3) その他固定資産				
機械装置	665,809			665,809
合理化事業 長期未収金		384,000		384,000
保証金	22,000		8,000	30,000
外部出資金		350,000		350,000
その他固定資産合計	687,809	734,000	8,000	1,429,809
固定資産合計	376,255,256	734,000	169,760,340	546,749,596
資産合計	591,718,902	916,406,791	177,719,776	1,685,845,469
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	91,505,387	568,213	495,963	92,569,563
未払費用	7,681,783		233,992	7,915,775
未払消費税等			1,932,400	1,932,400
預り金			2,675	2,675
仮受金	23,667,224			23,667,224
未払法人税等		445,500		445,500
担い手支援資金借入金	2,231,038			2,231,038
1年以内返済長期借入金		2,000,000		2,000,000
流動負債合計	125,085,432	3,013,713	2,665,030	130,764,175
2. 固定負債				
農業開発公社清算費用長期借入金		92,000,000		92,000,000
退職給付引当金			19,752,340	19,752,340
青果物価格補償事業預り金	375,567,447			375,567,447
農地預り金		784,206,408		784,206,408
固定負債合計	375,567,447	876,206,408	19,752,340	1,271,526,195
負債合計	500,652,879	879,220,121	22,417,370	1,402,290,370
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
地方公共団体助成金			150,000,000	150,000,000
指定正味財産合計			150,000,000	150,000,000
(うち基本財産への充当額)				
(うち特定資産への充当額)			(150,000,000)	(150,000,000)
2. 一般正味財産	33,334,891	11,274,835	88,945,373	133,555,099
(うち基本財産への充当額)				
(うち特定資産への充当額)				
正味財産合計	33,334,891	11,274,835	238,945,373	283,555,099
負債及び正味財産合計	533,987,770	890,494,956	261,362,743	1,685,845,469

財産目録
(令和8年3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金	(株)千葉銀行 他	運転資金、未払金費用等	223,822,333
未収金	農地賃貸料未収金 他	農地賃貸料等に係る未収金 等	47,019,723
販売用農地(空港関連農地)	農用地(全120筆)	空港周辺販売用農用地	870,140,201
前払費用	高橋 成、(株)ニュー千葉 他	駐車場料金の前払費用	152,670
仮払金	千葉東税務署	源泉所得税	7,483
貸倒引当金	農地中間管理事業賃貸料	農地中間管理事業賃貸料未収金 農地貸倒引当金	△ 2,046,537
流動資産合計			1,139,095,873
(固定資産)			
基本財産			0
特定資産			545,319,787
退職給付引当資産	(株)千葉銀行	職員に対する退職給付金の引当資産	19,752,340
青果物価格補償事業引当資産	(株)千葉銀行	価格補償事業における事業資金の引当資産	5,567,447
	千葉みらい農業協同組合	価格補償事業における事業資金の引当資産	370,000,000
事業円滑化積立資産	千葉県債	財政基盤の強化と事業効率化のための事業円滑化引当資産	100,000,000
	千葉みらい農業協同組合	財政基盤の強化と事業効率化のための事業円滑化引当資産	50,000,000
その他固定資産			1,429,809
機械装置	機械装置(農業機械類)	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している資産(種苗)	665,809
合理化事業 長期未収金	農地長期貸付者(1件)	収益事業における農地保有合理化事業のための資産	384,000
保証金	(株)ニュー千葉	公益目的事業に使用する駐車場利用のための保証金	30,000
外部出資金	全国農地保有合理化協会 債務補償事業出資金	農地保有合理化事業に係る出資金	350,000
固定資産合計			546,749,596
資産合計			1,685,845,469
未払金	国、千葉県、市町村 他	農地中間管理事業の中間管理料等への業務委託費の未払金、国への補助金返還等	92,569,563
未払費用	職員	翌月支給に係る嘱託職員及び日々雇用職員の未払給与	7,915,775
未払消費税等	千葉東税務署	課税所得に対する消費税	1,932,400
預り金	千葉東税務署	源泉所得税	2,675
仮受金	国、千葉県	農地賃借料の未払いに関する補助金の借受金 等	23,667,224
未払法人税等	千葉東税務署、千葉県税事務所 他	収益事業に対する法人税・地方法人税	445,500
担い手支援資金借入金	農地保有合理化協会	所有不明農地に関する供託への借入金	2,231,038
1年以内返済長期借入金	千葉県	農業開発公社清算債務借入金及び旧合理化事業1年以内返済金	2,000,000
流動負債合計			130,764,175
農業開発公社清算費用借入金	千葉県	農業開発公社清算債務借入金	92,000,000
退職給付引当金	(株)千葉銀行	職員に対する退職給付金の引当資産	19,752,340
青果物価格補償事業預り金	千葉県、全農千葉県本部、T A 他	価格補償事業に係る造成資金	375,567,447
農地預り金	農用地(全120筆)	空港周辺販売用預かり農用地	784,206,408
固定負債合計			1,271,526,195
負債合計			1,402,290,370
正味財産合計			283,555,099

財務諸表に対する注記

1 会計基準

公益法人会計基準（平成 20 年 4 月 11 日・内閣府公益認定等委員会）を採用している。

2 重要な会計方針

（１）固定資産の減価償却の方法

固定資産については、定率法により減価償却を行っている。

（２）引当金の計上基準

退職給付引当金については、職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末に発生していると認められる額を計上している。なお、退職給付債務は、期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

（３）消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式による。

3 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

単位：円

科 目	前期末残高	当期増減額	当期末残高
基本財産			
基本財産引当資産	0	0	0
小計	0	0	0
特定資産			
退職給付引当資産	16,996,930	2,755,410	19,752,340
青果物価格補償事業引当資産	399,041,774	△23,474,327	375,567,447
事業円滑化積立事業引当資産	150,000,000		150,000,000
小計	566,038,704	△20,718,917	545,319,787

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

単位：円

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産 からの充当額）	（うち一般正味財 産からの充当額）	（うち負債に対応 する額）
1. 基本財産				
基本財産引当資産	0	(0)	(0)	(0)
小計	0	(0)	(0)	(0)
2. 特定資産				
退職給付引当資産	19,752,340	(0)	(0)	(19,752,340)
青果物価格補償事業引当資産	375,567,447	(0)	(0)	(375,567,447)
事業円滑化積立事業引当資産	150,000,000	(150,000,000)	(0)	(0)
小計	545,319,787	(150,000,000)	(0)	(395,319,787)

※青果物価格補償事業引当資産に係るその他注記、及び以下の資金等内訳については、別途資料により説明。

- （１）令和 7 年度野菜価格安定事業に係る資金内訳
- （２）令和 7 年度野菜価格安定事業に係る資金造成計画総括表
- （３）令和 7 年度野菜価格安定事業の特別業務資金に係る内訳

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

単位：円

科目	種類	数量	関連 事業	取得 年度	取得価額	減価償却 累計額	当期末 残高
機械 装置	ニブロ 掘取機	1 台	種苗	H26	312,120	312,119	1
	ニブロ ロータリー	1 台	種苗	H26	658,800	658,799	1
	バロネス ハンマーナイフモア	1 台	種苗	H26	509,760	509,759	1
	ウッドチッパー	1 台	種苗	H27	504,792	504,791	1
	超音波加湿器	1 台	種苗	H28	639,446	639,445	1
	土壌消毒器	1 台	種苗	H28	993,600	993,599	1
	ミニショベル	1 台	種苗	H29	2,103,600	2,103,599	1
	びわかん水装置	1 台	種苗	H29	756,000	755,999	1
	マルヤマモア(大型草刈り機)	1 台	種苗	H30	756,000	755,999	1
	冷風機	1 台	種苗	R1	228,420	228,419	1
	デリカ マニアスプレッダ	1 台	種苗	R2	786,720	653,792	132,928
	丸山 自走セット動噴	1 台	種苗	R2	289,080	240,235	48,845
	オーレック草刈り機	2 台	種苗	R2	488,400	405,877	82,523
	防除剤用動噴	1 台	種苗	R4	160,820	113,442	47,378
	防除剤用動噴	1 台	種苗	R4	178,530	121,289	57,241
	落花生掘取機	1 台	種苗	R4	568,700	366,629	202,071
	農業用高圧洗浄機	1 台	種苗	R5	190,520	95,707	94,813
合計		18 台	-	-	10,125,308	9,459,499	665,809

6 補助金等の内訳及び交付者

補助金等の内訳及び交付者については、次のとおりである。

単位：円

補助金等名称	交付者	当期末残高
園芸産地強化・連携支援事業補助金	千葉県	9,800,000
農地中間管理事業補助金	国及び千葉県	225,599,564
農地売買支援事業補助金	千葉県	3,068,213
(補助金) 小計	-	238,467,777

7 退職給付関係

(1) 退職給付債務及びその内訳

単位：円

退職給付引当金	19,752,340	職員に対する退職給付引当金
---------	------------	---------------

(2) 引当金の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

8 貸倒引当金の計上

農地賃貸料の長期にわたる未収額の内、回収が困難と判断したもの2件に対し、令和6年度決算から50%基準による貸倒引当金の計上を実施している。

＜参考1＞令和7年度 野菜価格安定事業に係る資金内訳(会計年度ベース)

(令和7年3月31日時点の資金残高の内訳)

事業名	(参考) 右記 造成額の内訳			園芸協会に 造成されている金額 (県・全農・JA分)
	県	全農	JA	
千葉県青果物価格補償事業	112,005,652 円	25,455,825 円	66,185,158 円	203,646,635 円
特定野菜供給産地育成価格差補給事業	48,480,959 円	15,868,625 円	32,612,342 円	96,961,926 円
指定野菜供給産地育成価格差補給事業	10,726,083 円		10,726,081 円	21,452,164 円
特別業務資金	43,848,610 円	9,658,112 円	0 円	53,506,722 円
合計	215,061,304 円	50,982,562 円	109,523,581 円	375,567,447 円

＜参考2＞令7年度 野菜価格安定事業に係る資金造成計画総括表(事業年度ベース)

1 千葉県青果物価格補償事業

対象野菜	出荷期間	予約数量	交付準備金 造成額	事業開始前 交付準備金 造成額	差引交付準備金 造成額	出荷数量	対象数量	交付金額	事業実施後 資金造成額
		①	②	③	④(②-③)	⑤	⑥	⑦	⑧(②-⑦)
	(月)	(kg)	(円)	(円)	(円)	(kg)	(kg)	(円)	(円)
キャベツ	5.1～7.31	443,000	9,085,930	9,085,930	0	505,930	400,460	3,589,338	5,496,592
	10.1～12.31	50,000	1,049,000	1,049,000	0	19,910	19,910	0	1,049,000
	小 計	493,000	10,134,930	10,134,930	0	525,840	420,370	3,589,338	6,545,592
ごぼう	10.1～12.31	61,000	3,113,440	3,056,376	57,064	0	0	0	3,113,440
	1.1～3.31	28,000	1,770,720	1,546,646	224,074	8,530	8,530	539,438	1,231,282
	小 計	89,000	4,884,160	4,603,022	281,138	8,530	8,530	539,438	4,344,722
だいこん	4.1～6.30	200,000	4,860,000	4,860,000	0	107,670	84,420	0	4,860,000
トマト	5.1～6.30	63,000	4,344,480	4,276,440	68,040	138,160	47,247	0	4,344,480
	7.1～7.31	55,200	4,730,088	2,567,527	2,162,561	35,300	28,600	756,999	3,973,089
	小 計	118,200	9,074,568	6,843,967	2,230,601	173,460	75,847	756,999	8,317,569
にんじん	6.1～7.31	350,000	12,974,500	12,974,500	0	305,870	238,750	0	12,974,500
ねぎ	4.1～6.30	228,500	21,092,835	20,386,980	705,855	242,115	172,140	134,001	20,958,834
	7.1～9.30	52,500	4,696,125	4,175,660	520,465	58,100	24,065	64,468	4,631,657
	10.1～12.31	91,000	7,347,340	7,347,340	0	51,035	24,880	0	7,347,340
	1.1～3.31	87,000	6,792,960	6,792,960	0	132,690	67,650	581,593	6,211,367
	小 計	459,000	39,929,260	38,702,940	1,226,320	483,940	288,735	780,062	39,149,198
ほうれんそう	9.1～12.31	17,000	2,442,220	2,135,005	307,215	13,651	5,722	360,102	2,082,118
	1.1～3.31	12,000	1,404,240	1,404,240	0	28,632	3,219	69,729	1,334,511
	小 計	29,000	3,846,460	3,539,245	307,215	42,283	8,941	429,831	3,416,629
レタス(結球)	4.1～5.31	76,000	3,114,480	3,114,480	0	116,358	74,300	2,704	3,111,776
	1.1～3.31	71,000	4,591,570	4,349,961	241,609	51,110	45,210	999,547	3,592,023
	小 計	147,000	7,706,050	7,464,441	241,609	167,468	119,510	1,002,251	6,703,799
わけぎ	4.1～5.31	40,000	7,557,600	7,368,692	188,908	27,496	26,736	2,965,259	4,592,341
	11.1～12.31	34,300	6,964,272	6,964,272	0	23,312	21,650	1,168,770	5,795,502
	3.1～3.31	17,300	3,461,730	3,461,730	0	16,264	13,844	2,419,778	1,041,952
	小 計	91,600	17,983,602	17,794,694	188,908	67,072	62,230	6,553,807	11,429,795
サラダ菜	4.1～6.30	282,000	22,261,080	21,628,760	632,320	184,575	184,203	0	22,261,080
	7.1～9.30	262,000	33,915,900	31,350,107	2,565,793	132,277	131,753	2,293,134	31,622,766
	10.1～12.31	202,000	24,143,040	24,143,040	0	134,739	133,319	0	24,143,040
	1.1～3.31	203,000	23,267,860	23,267,860	0	136,713	130,368	0	23,267,860
	小 計	949,000	103,587,880	100,389,767	3,198,113	588,304	579,643	2,293,134	101,294,746
合 計		2,925,800	214,981,410	207,307,506	7,673,904	2,470,437	1,886,976	15,944,860	199,036,550

2 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

(1)特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

対象野菜	出荷期間	予約数量	交付準備金 造成額	事業開始前 交付準備金 造成額	差引交付準備金 造成額	出荷数量	対象数量	交付金額	事業実施後 資金造成額
		①	②	③	④(②-③)	⑤	⑥	⑦	⑧(②-⑦)
	(月)	(kg)	(円)	(円)	(円)	(kg)	(kg)	(円)	(円)
かぶ	4.1~6.30	30,000	707,400	492,140	215,260	34,880	18,420	0	707,400
	10.1~12.31	28,000	657,720	657,720	0	85,500	19,100	0	657,720
	小 計	58,000	1,365,120	1,149,860	215,260	120,380	37,520	0	1,365,120
そらまめ	5.1~7.31	15,000	1,177,650	1,177,650	0	87,216	5,132	0	1,177,650
にら	5.1~6.30	124,000	7,623,520	7,623,520	0	110,564	91,864	0	7,623,520
	7.1~10.31	227,000	23,821,380	23,821,380	0	197,812	165,720	0	23,821,380
	11.1~12.31	29,000	4,440,480	4,440,480	0	33,936	27,956	0	4,440,480
	1.1~2月末日	26,000	4,093,700	4,093,700	0	33,900	26,000	0	4,093,700
	3.1~4.30	136,000	12,658,880	12,658,880	0	110,856	93,364	46,416	12,612,464
	小 計	542,000	52,637,960	52,637,960	0	487,068	404,904	46,416	52,591,544
ブロッコリー	10.1~12.31	51,000	3,271,140	3,271,140	0	20,520	18,932	0	3,271,140
	1.1~3.31	30,000	1,979,400	1,731,315	248,085	19,292	19,208	280,521	1,698,879
	小 計	81,000	5,250,540	5,002,455	248,085	39,812	38,140	280,521	4,970,019
ながいも以外の やまのいも	4.1~6.30	176,000	19,088,960	19,088,960	0	126,872	117,052	0	19,088,960
	7.1~9.30	208,000	22,160,320	22,160,320	0	163,644	160,980	0	22,160,320
	10.1~12.31	295,000	29,797,950	29,797,950	0	122,504	118,936	0	29,797,950
	1.1~3.31	158,000	15,277,020	15,277,020	0	54,672	53,388	0	15,277,020
	小 計	837,000	86,324,250	86,324,250	0	467,692	450,356	0	86,324,250
合 計		1,533,000	146,755,520	146,292,175	463,345	1,202,168	936,052	326,937	146,428,583

(2)指定野菜等供給産地育成価格差補給事業

対象野菜	出荷期間	予約数量	交付準備金 造成額	事業開始前 交付準備金 造成額	差引交付準備金 造成額	出荷数量	対象数量	交付金額	事業実施後 資金造成額
		①	②	③	④(②-③)	⑤	⑥	⑦	⑧(②-⑦)
	(月)	(kg)	(円)	(円)	(円)	(kg)	(kg)	(円)	(円)
夏秋キャベツ	7.1~10.31	1,125,500	21,519,560	21,519,560	0	408,770	331,910	403,474	21,116,086
冬キャベツ	11.1~12.31	390,000	7,012,200	7,012,200	0	266,610	266,610	370,459	6,641,741
	1.1~3.31	44,000	975,480	878,799	96,681	42,380	42,380	931,163	44,317
	小 計	434,000	7,987,680	7,890,999	96,681	308,990	308,990	1,301,622	6,686,058
春だいこん	3.16~6.30	320,000	6,668,800	6,668,800	0	257,490	197,760	22,905	6,645,895
冬春ミニトマト	5.1~6.30	3,000	325,260	325,260	0	9,917	3,000	0	325,260
	11.21~12.31	3,000	436,380	436,380	0	4,800	1,278	0	436,380
	1.1~2月末日	2,000	299,920	299,920	0	8,490	2,000	0	299,920
	3.1~4.30	3,000	434,460	362,050	72,410	10,253	2,611	0	434,460
	小 計	11,000	1,496,020	1,423,610	72,410	33,460	8,889	0	1,496,020
冬春トマト	5.1~6.30	23,000	1,358,840	1,338,600	20,240	90,082	19,780	10,200	1,348,640
夏秋きゅうり	10.1~11.30	5,000	378,500	378,500	0	16,211	2,240	0	378,500
冬にんじん	11.1~12.31	38,000	1,013,560	67,080	946,480	56,080	34,000	0	1,013,560
	1.1~3.31	116,700	3,288,408	134,000	3,154,408	60,550	60,550	416	3,287,992
	小 計	154,700	4,301,968	201,080	4,100,888	116,630	94,550	416	4,301,552
合 計		2,073,200	43,711,368	39,421,149	4,290,219	1,231,633	964,119	1,738,617	41,972,751

＜参考3＞令和7年度 野菜価格安定事業の特別業務資金に係る内訳

(会計年度ベース)

1 千葉県青果物価格補償事業

No	項目	千葉県	全農千葉県本部	JA	金額 (県・全農・JA分)	備考
①	令和6年度末 残高	7,433,688円	1,689,464円	0円	9,123,152円	
②	令和7年度 積立分	7,342,814円	1,668,819円	4,338,929円	13,350,562円	
③	令和7年度 返戻分	5,987,398円	1,360,774円	4,338,929円	11,687,101円	
	令和7年度末 残高	8,789,104円	1,997,509円	0円	10,786,613円	①+②-③

2 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

(1) 特定野菜供給産地育成価格差補給事業

No	項目	千葉県	全農千葉県本部	JA	金額 (県・全農・JA分)	備考
①	令和6年度末 残高	21,088,022円	3,625,409円	0円	24,713,431円	
②	令和7年度 積立分	12,552,204円	4,116,362円	8,435,835円	25,104,401円	
③	令和7年度 返戻分	284,857円	81,168円	8,435,835円	8,801,860円	
	令和7年度末 残高	33,355,369円	7,660,603円	0円	41,015,972円	①+②-③

(2) 指定野菜供給産地育成価格差補給事業

No	項目	千葉県	全農千葉県本部	JA	金額金額 (県・全農・JA分)	備考
①	令和6年度末 残高	0円	0円	0円	0円	
②	令和7年度 積立分	2,792,238円	0円	2,792,237円	5,584,475円	
③	令和7年度 返戻分	1,088,101円	0円	2,792,237円	3,880,338円	
	令和7年度末 残高	1,704,137円	0円	0円	1,704,137円	①+②-③